

大原台

令和4年3月24日発行
第172号

オンラインで探る

令和の「鹿児島の教育」

令和3年度調査研究発表会全体発表
(オンライン配信)の様子(表紙写真)

鹿児島県における
「令和の日本型学校教育」の構築
～子どもを主題にする学校へ～

独立行政法人教職員支援機構 荒瀬 克己

NITS荒瀬克己理事長による特別講演オンデマンド配信の様子

想い

「教育の本質を問い、
学び続ける教師でありたい」

鹿児島県総合教育センター
次長兼研修部長 下屋敷由貴子

異動により新たな学校に赴任すると、大抵の教師がそうであるように、どのような学校、子供であるかをいち早く把握したいものである。事前に行う文字や数字等の引継ぎの情報も重要であるが、やはりその現場に身を置き、自分の目で見て実際に関わる中で、そのよさも課題も初めて実感を伴い分かる。文字や数字等の中には表れない原因もうっすらと見え始め、1か月も経つと学級、また学校全体の改善すべき課題が自分なりに見えてくる。そうしたとき、「何か新たな取組を」と考えるわけだが、その前に、課題に照らして「教育課程で停滞している部分はないか」という視点で見直すと、大抵そういう部分が見つかる。

例えば、教科の指導には懸命に取り組んでいるが、特別活動やその他の活動は停滞しているということはないだろうか。諸調査等の数値目標達成にだけ神経が注がれ、教育課程全体のマネジメントができていないということはないだろうか。学校の授業等の子供の様子を見れば、学びに向かっているか、自己肯定感をもって、生き生きと過ごせているかは一目瞭然である。

数値が上がっても自己肯定感が低い、生徒指導上の課題が多い場合もあり、数値のみをもって一喜一憂すべきではなく、数値は子供の現状を知る一つの目安として、分析結果を確実に指導に生かせばよい。特に義務教育においては、授業が学びの中心であるが、その学びに向かう姿勢を教科等横断的な視点も含め全教育活動を通して育み、子供がなりたい自分になるための自立の基礎を築くことが大切なことと考える。

令和4年度から高等学校においても学習指導要領が第1学年から順次実施となり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等、改革が求められる。今回の学習指導要領の改訂を機に、各学校では組織として子供や教師、学校のこれから目指すべき姿を共有していることであろう。「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（中教審答申）、GIGAスクール構想に基づくICT活用の促進等、国の教育の方向性も次々と示されている。変化の激しい予測困難な時代を生きていく子供たちの将来を見据えた学校教育の責任を果たすべく、私たち教師も学び続け進化していかなければならない。その先生方の学びを、当教育センターは令和4年度も全力で支援していきたい。

令和3年度 調査研究発表会 (オンライン開催)



令和3年度の調査研究発表会は、令和4年1月28日(金)「『令和の日本型学校教育』の構築」をテーマに、終日オンライン開催とし、県外や遠隔地を含め、約400人の参加がありました。全体会は一方向での配信、分科会では、協議まで双方向で実施しました。(独)教職員支援機構荒瀬克己理事長による、オンデマンド事前講演も含め、参加者から多くの反響をいただきました。

全体会の様子



調査報告【教職研修課】

「教職員の連携協働力を高める取組
ー校内研修プランの作成と実践を通してー」

発表:大原研究主事



研究発表Ⅰ【情報教育研修課】

「1人1台端末時代における授業デザイン
ー『GIGAスクール構想』の実現による学びのイノベーションー」

指導助言:鹿児島女子短期大学
渡邊 光浩 准教授 (写真右)

発表:青木研究主事(写真左)



研究発表Ⅱ【特別支援教育教育研修課】

「校内外における指導・支援の接続に関する研究
ー特別な配慮が必要な児童生徒に焦点を当ててー」

指導助言:鹿児島大学教育学部
有倉 已幸 教授 (写真右)

発表:古村研究主事(写真左)



分科会の様子

Zoomのブレイクアウトルーム機能やグーグルフォームを活用し、参加者と双方向のやり取りをしながら、各分科会を進めることができました。



国語分科会



社会、地理歴史、公民分科会



算数、数学分科会



理科分科会



外国語・外国語活動分科会



情報教育分科会



特別支援教育分科会



教育相談分科会

令和3年度調査研究発表会(資料)のページは、二次元コードからどうぞ。



企画課

☎ 099-294-2312

「育成を目指す資質」を意識した研修受講

～「かごしま教員育成指標」と「研修履歴ファイル」の活用を！～

- ・ 当センターの短期研修をはじめとする研修講座では、「かごしま教員育成指標」を踏まえ、各研修講座で成果が期待される「育成を目指す資質」を示しています。
- ・ 各研修講座の案内をご覧になり、各講座で成果が期待される「育成を目指す資質」を確認の上、申し込むことができるようになりました。研修を申し込む際の参考にしてください。
- ・ 研修履歴ファイル「T-TRASTE」は、「かごしま教員育成指標」の各キャリアステージにおける項目で自己評価できるツールです。研修計画にお役立てください。

短期研修講座の申込み準備をしましょう

「令和4年度『短期研修講座』案内」（ポスター）を各校に発送しました。また、Webサイトへもアップしましたので、以下のリンクから講座詳細を御確認ください。

なお、申込期間は以下のとおりです。前期は、年度初めの申込みになりますので、育成指標も参考にしながら、計画的にお申し込みください。

【申込期間】

前期 4月1日(金)～14日(木)

後期 6月1日(水)～16日(木)

【URL】

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/traning/kibou/tanken/kouzasyousai/top.html>



T-TRASTE



【T-TRASTEの特長】

- ・ 自己評価ができる
- ・ 自分の強みや課題、研修の方向性が分かる
- ・ 研修履歴を蓄積できる
- ・ 自分の成長が見える など



【参考】

「かごしま教員育成指標」について

平成29年に作成された、教員等に求められる資質について示されたもの。

例えば、教員に求められる資質（大項目）には、「学習指導力」、「生徒指導力」、「連携協働力」、「課題対応力」がある。

鹿児島県教育委員会Webページ →



教科教育研修課 ☎ 099-294-2313

教職研修課 ☎ 099-294-2792

令和4年度の調査研究が変わります

令和の日本型学校教育の構築を目指して（中教審答申）やGIGAスクール構想など、国の教育の方向性が次々に示され、1人1台端末の活用について各学校で実践に取り組んでいることと思います。当センターでも、1人1台端末時代に、どのように授業を進めていけばよいかを研究すべく、これまで課ごとに行っていた調査研究を各課横断的なプロジェクトに組み替えることとしました。4班に分かれ、ICT活用に関する次のようなテーマで、研究協力校の協力を得ながら実践的な研究に取り組みます。

【A班】子供の学びに着目した教科等におけるICTの効果的な活用に関する研究（仮）

【B班】生徒一人一人の可能性を引き出す個別最適な学びの研究
～ICTの効果的な活用による遠隔授業の実践を通して～（仮）

【C班】障害のある児童生徒の学びの充実を図る研究
～特別支援学校におけるICTの効果的な活用を通して～（仮）

【D班】児童生徒理解に関する研究～効果的なICT活用を手がかりとして～（仮）

令和4年度調査研究発表会

令和5年1月27日（金）

（8月下旬にオンラインで経過報告予定）

企画課 ☎ 099-294-2312

令和4年度夏季研修講座（なつ研）～オンライン開催～

8月23日（火）～29日（月）の期間にオンラインで開催します。県内外の大学等から講師を招聘しての講演、当センター各課で行っている研修の中から、この時期に合わせた講座を提供します。また、調査研究の途中経過も発表します。「なつ研」は、右のような方にぴったりの講座です。ぜひ、夏の研修計画で御活用ください。詳細は、新年度に案内します。

【予定される講演】

- 「個別最適な学びと協働的な学び（仮）」
上智大学 奈須正裕 教授
（著書：『資質・能力と学びのメカニズム』、『個別最適な学びと協働的な学び』ほか多数）
- 「今改めて問われる教師の在り方（仮）」
熊本市教育センター 前田康裕 主任指導主事
（著書：『まんがで知る未来への学び』ほか多数）
- 連携大学講師による講演



上智大学
奈須正裕 教授



熊本市教育センター
前田康裕
主任指導主事



こんな方にオススメ

- ・ 2学期のスタートに必要な情報をオンラインで気軽に学びたい。
- ・ 県内外の専門家等の講演をオンラインで視聴してみたい。
- ・ 夏季休業中後半の校内研修で視聴したい。
- ・ キャリアステージ3～4になり、研修の機会が少ない。

【予定される講座】（仮）

- 特別支援教育スキルアップ講座
- 情報モラルセキュリティ講座
- 子供の明日を拓く自殺予防講座
- アンガーマネジメント講座
- 道徳・特別活動講座
- 高等学校ICT活用の現状
- 校内研修講座 等

企画課 ☎ 099-294-2312

長期研修者研究発表会（令和4年2月17日実施）

今年は、オンラインによる発表会となりました。9人の長期研修者は、研究に没頭できる環境を生かして、各教科等に関する課題を踏まえて、担当研究主事に相談しながら実践的な研究を進めてきました。発表会当日は、約200人の参加者があり、学びの成果を共有しました。

【長期研修者の感想】

専門領域特講や所員講話を拝聴し、共感や納得をする中で自分を振り返り、自分の研究も深めることができた。また、長期研修の仲間と過ごし語り合うことがとても貴重な時間となり、この出会いの機会として参加できたことは幸せな1年となった。長期研修は終わりに近づくが、この経験を生かし、更に自分の研究を深めることはもとより、学校経営の一員として、ひいては子供たちが未来を創るために全力を尽くしたいと思う。



令和3年度長期研修者

←発表会当日の様子（左上写真，左下写真）

教科教育研修課 ☎099-294-2313

高等学校等情報教育継続研修発表会・修了式（令和4年2月4日実施）

令和3年度の継続研修者6人は、共通研修やコース別研修で学んだ知識や技能を基に、コンテンツ作成や作品製作に取り組みました。

発表会当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者を継続研修者と所員のみとし、センター内にオンライン配信して実施しました。

発表の様子は、期間限定で当センターWebページ「学びの地図」で視聴できます。



発表会当日の様子



令和3年度継続研修者



鹿児島工業高等学校
座安教諭の作品



鹿児島聾学校
俵積田教諭の作品

【継続研修者の感想】

今回、継続研修の機会をいただき、情報教育について丁寧に幅広く教えていただいた。授業で活用できるスキルが格段に向上したと思う。また、工業、商業、特別支援教育と日頃交流がもてない校種の先生方と課題研究の壁を乗り越えられたことも、貴重な経験となった。学んだことを生徒や学校に還元し、今後も自分自身のスキルアップに努めていきたい。

情報教育研修課
☎ 099-294-2849

閲覧室

閲覧室には、所員おすすめの新刊本や教科用図書もあります。現在、ICT活用に関する本を展示中です。4月以降の個人研修等に、ご活用ください。



企画課 ☎ 099-294-2312

研究支援



当センターの研究主事等の派遣（オンライン含む。）や来所研究等、研究支援を御活用ください。詳細はWebページから。

企画課 ☎ 099-294-2312

24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310（全国統一フリーダイヤル、通話料無料）

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574（固定電話専用フリーダイヤル、通話料無料）

099-294-2200（通話料有料）

鹿児島県総合教育センター
広報誌「大原台172号」

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862

TEL: 099-294-2311

FAX: 099-294-2309

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>

